

平成27年度第3回八街市地域公共交通協議会 議事録

開催日時	平成27年10月19日(月) 15:00~17:30
開催場所	八街市役所総合保健福祉センター3階大会議室
参加人数	19名、傍聴なし
協議内容	<p>1. 開会 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定刻となったので、平成27年度第3回八街市地域公共交通協議会を開会する。本日の出席者は代理出席者3名を含め委員26名中、19名となっている。なお、「東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 小林様」、「千葉県佐倉警察署 小林様」、「八街市区長会長 原様」、「公募市民 中村様」、「千葉運輸支局 竹内様」、「八街商工会議所 大畑様」、「八街市社会福祉協議会 石毛様」の7名から欠席の連絡を頂いている。 <p>2. 会長あいさつ (会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 八街市地域公共交通協議会では、前回の会議でも議題となっていた八街市地域公共交通形成網計画策定のため、7月から9月にかけてふれあいバスの利用状況や市民ニーズの把握をするため、調査を進めてきた。本日はその調査結果の報告並びにその結果を踏まえた八街市地域公共交通網形成計画の骨子案についてを議題としている。委員におかれては、本市の公共交通が市民生活の利便性向上に寄与し、かつ将来にわたり持続可能なものとするため、忌憚のないご意見をいただき、審議していただくようお願いする。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 八街市地域公共交通協議会規約第9条の規定により、会議の議長は会長をもって充てることとなっているので、議事進行について榎本会長をお願いする。 <p>3. 議題 (会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> それでは、議題に入らせていただく。 <p>議題1. 「八街市地域公共交通網形成計画策定に係る調査業務の報告」について、事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局資料説明)</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から地域別懇談会・ふれあいバス利用者ヒアリング調査・交通事業者ヒアリングの結果の説明及び報告があったが、何か質問等はあるか。

(飯塚委員)

- ・国道 409 号のガードレール設置については、小学生が悪いのではなく、乗用車が歩道に突っ込まないようにするための安全対策としての設置要望として伝えたつもりである。そういう意味合いに訂正してほしい。

(会長)

- ・資料の表現が誤解を招くという指摘である。事故につながらないための安全対策として受け止めさせていただく。
- ・そのほか何かあるか。

(今井委員)

- ・前回の会議において、事故に伴うふれあいバス南コースの新車両を 9 月下旬に納品し、10 月から走らせることが出来ると報告させていただいたが、日野自動車からの納車の予定が立っていない。納車出来次第、1 日でも早く走らせる。
- ・現在運行しているふれあいバス全コースの車両にドライブレコーダーを搭載した。今後は、安全運転に努めていきたい。

(会長)

- ・ほかに質疑はないか。質疑がなければ、これで質疑を終了する。議題 1 については報告事項であることから以上をもって終了する。
- ・次に、議題 2. 「八街市地域公共交通網形成計画策定の骨子 (案)」について事務局より説明を求める

(事務局資料説明)

(会長)

- ・事務局の方から、地域公共交通網形成計画の骨子(案)について説明があった。それについて意見を頂きたい。

(轟委員)

- ・計画目標と各事業のつながりがわかりにくい。さらに、それを具体的に落としたものがふれあいバスの再編イメージだと思うが、各事業が盛り込まれて、再編イメージが成り立っているのかがわからない。もう少し補足説明を頂きたい。

(会長) 計画目標、各事業、再編イメージのつながりについて、もう少し説明をしてほしいという事だが、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- ・計画目標 1 については、事業 1、2、3 さらには事業 9 に対応している。計画目標 2 は事業 3、計画目標 3 は事業 1、3、計画目標 4 は事業 9、10、計画目標 5 は事業 5 に対応すると考えている。

(轟委員)

- ・今、説明頂いた内容をフローとか体系図で整理していただくとわかりやすくなると思う。
- ・計画目標の①と③の違いがはっきりしないように思う。表現も同じようにものもあるので、再考した方が良さだろう。

- ・事業8の道路整備の推進が出てこなかったが、それがどの目標とつながっているのかなど体系的に整理するとわかりやすいと思う。また、それが、再編イメージに結び付くと良いと思う。

(事務局)

- ・指摘いただいたことについては、計画案を作成する際にフロー図なり、体系図をつけて分かりやすく整理していきたい。

(土屋委員)

- ・P3の④についてのコメントにある「自動車」は、自家用車という事でよいか。もし自家用車なら、明確に書いた方が良い。
- ・P10 貨客混載とあるが、交通空白地域を対象としているので、果たして八街市において検討する必要があるのか。八街市には公共交通があるのに、敢えて計画に載せる必要があるのかどうか、市内でタクシー事業を行っている者もいるので、慎重に検討してほしい。

(事務局)

- ・国から認められたばかりの制度であり、市としても勉強している状態なので、ふれあいバスの再編の中で生じる交通空白地域において、新しいサービスのひとつとして可能性があることから事業として列挙している。事業については、慎重に検討していきたい。

(越川委員)

- ・ふれあいバスの運行時間短縮についてはどのくらいを想定しているのか。

(事務局)

- ・地域懇談会で、現在の所要時間を1時間程度にしてほしいという意見を多く頂いている。

(龍崎委員)

- ・P15 乗合タクシーのコース・時刻等を決定しないと運賃・経費等が算出できないのではないかと。また、デマンド交通はバス停のような乗降場を設けるのか、それとも設けないのかを決めておく必要もあると思う。

- ・P10 のイメージ図だが、店舗から自宅までが宅配サービスの車両による送迎となっているが、今後のことはわからないが、タクシー事業者は、国で認可された運賃によりサービスしているので、宅配車両で運賃を送迎することは現時点では法違反になるのではないかと。そういうことから、先ほど土屋委員より話があったように、慎重に検討して記載しないと、これが独り歩きして、色々な事業者が参入してくる可能性がある。

(事務局)

- ・さきほどの繰り返しになるが、まず勉強して、どういった制度なのかを把握し、慎重に検討していきたい。その結果、必要な事業かどうか考えていきたい。

(会長)

- ・ほかにいかがか。

(花崎委員)

- ・計画期間が5年間とあるが、その中で、短期計画でどこまでやるのか。また長期

計画として何をやるのかわかるようにしてほしい。

(事務局)

- ・本来は、実施時期を明記するところであるが、今回は骨子(案)という事から明記していない。今後、計画素案として作成していく段階では事業スケジュールを定め、提示していきたい。

(会長)

- ・八街市地域公共交通連携計画の時は、矢印で時期を示していた。そういうイメージでよいか。

(事務局)

- ・そういうイメージになると思われる。

(社内委員)

- ・P14 以降の再編イメージ案について、複数案提示してもらっているが、どういう目的でルート設定しているのか、また市民移動ニーズ等は提示してもらえると分かりやすいと思う。

(事務局)

- ・再編イメージ案については、現行の運行ルートをベースに作成している。乗降調査結果をとりまとめ、それを勘案した形で次回以降提示したい。
- ・また、今回の再編イメージ案は地域の意見を聞いて、ふれあいバスを残した方が良いという意見に対する案、デマンド交通を入れた方が良いという案、タクシー運賃助成の方がデマンド交通よりも良いのではという案をもとに提示されて頂いた。

(武井委員)

- ・確認させてほしいが、今後の作業スケジュール的なことはわからないが、提示された4案について意見を聞いて、次回修正したものについて協議する時間はあるのか。

(事務局)

- ・再編ルート案については、イメージとしてとらえてほしい。どの案を形成計画の基本的な方向性とするかについては本日協議していただきたい。

(会長)

- ・再編イメージとしてどういう方向で今後検討していくべきか、ある程度の方向性を示していかなければならないので、本日、意見を集約して方向性を決めたいので、今後の計画を改めて示すという事になる。各委員の意見も様々だと思うので、本日まとめることが可能かどうかわからないが、特にほかのところで質疑等がなければ、再編イメージ案についての意見・質問等を伺いたい。

(佐藤委員)

- ・再編案2では、八街北地区でデマンド交通を導入するという事か。

(事務局)

- ・あくまでデマンド交通を導入した場合の例として提案させてもらっている。ふれあいバス北コースの運行地区を例とさせていただいたのは、その地域では現在、千葉交通株式会社が運行する住野線があることや、ふれあいバスの利用者数が他

の路線と比較し少ないことを勘案した結果、例として出させてもらった。

(会長)

- ・ほかのコースかもしれないし、まだ確定はしていないが、いずれにせよデマンド交通を導入する場合はどこかのコースを1路線減らすという事だろう。

(今井委員)

- ・再編をする前に、道路事情によって、いくらでも運行時間の短縮はできる。今後の八街バイパスの整備により、バスコースも変わるだろうし、時間短縮もできると思う。整備について教えてもらってから検討しても、遅くはないのではないか。

(会長)

- ・整備スケジュールについては、建設部長である河野委員より願います。

(河野委員)

- ・八街バイパス整備事業については、暫定の形にはなるが、平成28年度中に今のふれあいバスターミナルの方向への整備することになっている。交通状況等についてはそれからの検証となる。ただ現在整備されている区間だけでも、十字路の交通量は減少しているという結果は出ているので、効果はあると考えている。

(今井委員)

- ・その計画を踏まえたうえで、地域の渋滞が緩和されて、ふれあいバスの運行時間が短縮されれば、駅まで早く行くことができるようになると考えられる。八街市は貨物等の大型車が通過していくことから、特に月曜日は車が動かない。そこに右折車が1台いると大型車は追い越せず、どんどん滞留してしまう。その中には、ふれあいバスも入っている。八街バイパスが整備されれば5～10分、多い時は15分と短縮できるのではないか。とくに住野の交差点はまず動かない。そういう点からも新しいバイパスに期待したい。

(会長)

- ・実際のふれあいバスのルートを検討するに当たっては、そういった最新の情報をもとに再編することになると思う。今後、地域公共交通再編実施計画を策定するかは未定であり、また実際に運行ルートを変えるには時間がかかるので、まずは形成計画の中でデマンド乗合タクシーを入れていくのか、ふれあいバスの運行ルートを再編し、時間短縮を図っていくのか、さらにはタクシー運賃助成券についても考えていくのか、そのあたりの大きな方向性をまとめられればと思う。形成計画策定にあたっては、その大きな方向性が影響するので、委員の意見を伺いたい。具体的なルート再編については、様々な意見が出ると思うのでそこまでいかず、どういう方向性が市民にとって望ましいのか声を聞かせてほしい。

(辻内委員)

- ・これから再編案1～4の中から選ぶことになると思うが、デマンド交通を導入するのであればどの地域になるのか、バスのルートを削減するのであれば、どこを削減するのかが決まっていないと、どれがよいか選ぶのが難しいのではないか。

(事務局)

- ・ご指摘の内容については理解するが、今日は再編案の方向性について協議してもらいたい。

- 例えば案2のデマンド交通については、地域別懇談会のなかではデマンド交通への要望が出ている地域もあることから提案させていただいた。しかし、八街市の財政状況を勘案した場合、ふれあいバスを残して、デマンド交通を上乗せすることは現実的ではない。そのため、ふれあいバスかデマンド交通かを選択しなければならない地域が出てくるだろうということから、案2を設定している。
- 現行のふれあいバス5コースのまま運行ルートの見直し等で経費削減を行い、削減できた費用をタクシー助成等に充てるのが案3、現在のルートで重複している区間を再編することにより、5コースから4コースに見直し、経費削減を行い、削減できた費用でタクシー運賃助成を行い、交通空白地域等に対応するとしたのが案4である。
- 事務局としては、八街市の地域公共交通を将来的にも維持していくために、今の公共交通に対する経費の削減を図りながら、利便性の向上を図っていくために、案4を考えている。地域別懇談会で意見を聞いていく中で、ふれあいバスがなくなり、デマンド交通にうまく転換できるのかという不安感から、タクシー運賃助成の方がいいのではないかという意見が多く出されたからである。ただし、タクシー運賃助成とした場合、対象者を高齢者や非課税者、福祉タクシー券の受給者ではないなど条件を制限したとしても、相当の財政負担が発生するため、現行のふれあいバスの1路線削減により経費節減を図りたい。
- 具体的にどういったルート再編をするかは9月に行った乗降調査の結果が出れば協議会で示すことができると思う。

(越川委員)

- デマンド交通にすると、相当の費用が掛かる。福祉有償運送を考えたことはあるか。身障者の方は良く利用されている。運転手が介助もしてくれ、目的地まで運んでくれるので、こちらの方が安く済むのではないか。

(事務局)

- 市内には5団体あり、皆さんから利用してもらっている。

(花澤委員)

- デマンド交通がわからない。何年前にデマンド交通の実証実験を行っていると思うが、利用は多かったのか。

(事務局)

- 平成25年に中コースが運行している交進地区で実証実験を行ったが、試験期間が10日間と短期間であったため、あまり浸透せず、確実性のあるデータは取れなかったことから導入には至らなかった。その時10日間で、延べ49人の利用があったが、実質の利用者19人が期間中複数回利用していた。

(花澤委員)

- デマンド交通を導入した場合、依頼する者と運転する者で成り立っていくと思うが、利用者が少ない中で、全市をデマンド交通で一翼を担わせることが出来るのか。デマンド交通に傾斜しすぎているのではないか。まずはやれるところから試験的に始めていくのだろうけど、実証実験の時のような利用者数ではデマンド交通でやっていけるのか危惧している。

(事務局)

- ・コミュニティバスの不振を打開する手段として、デマンド交通という運行システムが話にでてくる。また、地域別懇談会の中でもデマンド交通の導入という意見が出ているので、無視はできないという事で案2として入れた。
- ・事務局として、案4を提案させていただいたのは、地域懇談会の中でふれあいバスは堅持していくべきと、ふれあいバスを大事にされている方が多くいたこと。また、デマンド交通よりタクシー運賃助成の方が良いという意見が多く出たからである。ただし、タクシー運賃の助成券をするにも相当の経費が発生することから、ふれあいバスのルート再編により運行経費を削減し、そこから捻出できないかという事で案4を提示させていただいた。

(会長)

- ・このあたりについては、色々な意見があり、連携計画の時もデマンド交通をどうするのかという話はあった。
- ・地域懇談会ではいろいろな意見が出るが、ふれあいバスを大切にしながら、時間短縮・運行本数を見直す中で、それを補うものとしてタクシー運賃助成を行っていくのが望ましいのではないかという事で事務局から提案があった。さらに委員の方から意見を伺いたい。

(鶴澤委員)

- ・ルートの再編については八街市地域公共交通協議会で決めていくということによいか。

(事務局)

- ・形成計画については、地域公共交通会議が策定の主体となっているので、この協議会の中で協議していただきたい。

(鶴澤委員)

- ・計画として、この5ルートのひとつを選ばなくてはならないのか。

(事務局)

- ・もし、案4で行くならば、どこかのルートを削減し、その区域をほかのコースでできるだけ補うような形になると思われる。ただし、それがどのルートになるのかは、あくまで今回の計画が5ヶ年の計画なので、その中で検討していくことになるが、再編実施もこの5ヶ年の間で行っていくので、スケジュールに余裕はないと考えている。

(鶴澤委員)

- ・案4の表現方法を1ルート削減するというのではなく、財政的な面を考慮し、現在、5台体制で運行しているところを4台体制にして運行していく、カバーできないところをデマンド等で補うとした方がやわらかくていいのではないか。
- ・右折による交通渋滞が改善されず、運行ルートを長くしてきた経緯があり、本来は交通渋滞が改善されれば運行時間の短縮はできると思う。運行ルートを削減するのは大変である。

(事務局)

- ・今回考えている再編案については、運行ルートをシンプルなものにして、1ルー

ト削減しても、他のルートでカバーしながら、なるべく公共交通空白地域を作らないような設定を念頭に置いている。

- ・また、ふれあいバスの路線が長大となっている理由として、例えば南部を運行している路線がJR線路を超えて、北部地域まで運行していることが挙げられる。そのため、八街駅をふれあいバスの発着場所とすることで運行時間の短縮を図りたい。

(鶴澤委員)

- ・当社も各自治体でコミュニティバスを運行している。その中で、八街市は、駅まで乗り入れるところで成功している例だと思う。他都市では駅への乗り入れを断念している所もある。

(会長)

- ・ほかにはいかがか。案4について、ルートの削減等の表現の仕方はあるが、運行時間の短縮を図り、タクシー運賃助成を行っていくとする方向性でどうか。

(轟委員)

- ・案4がシンプルな形でいいのかなと思っているので、事務局が考えている案で進めてよいと思う。

- ・データを見ながら、どこをシンプルにできるのか、また道路整備によって時間が短くなるのか等を分析して、案4となる考え方を整理してほしい。

- ・再編イメージ案2はデマンド交通を導入した場合の案であるが、P4からP13までの目標達成するための事業のなかにデマンド交通がない。

- ・案4とする場合には、デマンド交通は事業に入れないことになると思うので、その当りの流れをきちんと整理してほしい。

(会長)

- ・事業の位置づけを明確にする中で、デマンド交通の扱いが変わるのだろう。

(事務局)

- ・デマンド交通が事業として入っていないという指摘については、計画目標の中の機能分類の表の中で「新たな交通システム」という表現や目標③の2つの目の分の「地域のニーズに対応する地域交通の運行の可能性について検討」というような表現で盛り込んでいたが、事業のメニューとしては記載していない。イメージ案4の方向でいくのならば、デマンド交通は事業には入れない方向になると思う。

(会長)

- ・案4の方向で今後検討していくとしてよいか。とくに意見がなければその方向で進めさせていただく。

(意見なし)

(会長)

- ・この他に意見等はあるか。なければ進行を事務局に戻す。

4. 閉会

(事務局)

- ・ 次回の開催については改めて通知する。以上をもって、平成27年度第3回八街市地域公共交通協議会を終了させていただく。

